



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

## 第134期 事業報告書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

### Contents

「健康」と「美」 世界中の人々が追い求めるもの …1p	
株主のみなさまへ ……3p	
営業の概況 ……7p	
特集①市場の拡大と新たな市場の創造へ…9p	
特集②世界市場の強化とその可能性 ……11p	
連結財務諸表 ……13p	
単独財務諸表 ……16p	
会社概要・役員、株主優待 ……17p	
株式の状況 ……18p	

白い歯が輝く、

世界中の笑顔のために



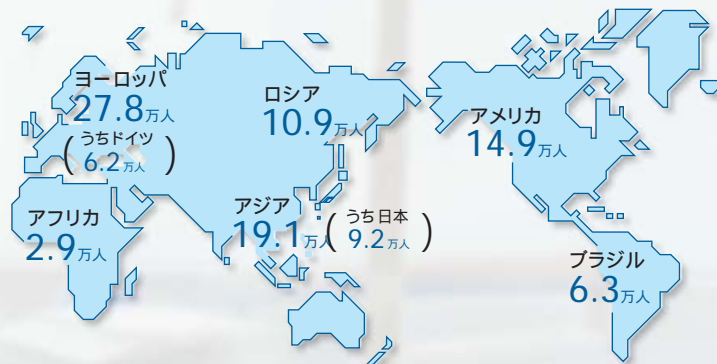
# 「健康」と「美」

## 世界中の人々が追い求めるもの

株式会社松風は、松風陶歯製造株式会社として1922(大正11)年に設立。創業者の三代 松風嘉定は、「清水焼」の製陶家であった初代嘉定と、輸出用陶器の産業化に尽力した二代 嘉定から受け継いだ製陶技術をベースに、それまで輸入に頼っていた高級陶歯の国産化に成功しました。ここに、創業以来変わらぬ研究開発を重視した体制で、常に時代に先駆けた商品を提供し、歯科医療の発展とともに歩んできた私たち松風の原点があります。

今も昔も、歯は「健康」への入り口であり、人々にとって幸福の象徴でもあります。加えて、近年では「美しい」歯へのニーズもますます高まっています。こうした世界の人々の「健康」と「美」への希求に、確かな品質とそれを支える技術力、研究開発力でお応えし、世界の歯科医療の発展に貢献したい。それが私たち松風の変わらぬ願いなのです。

### 世界の歯科医師数

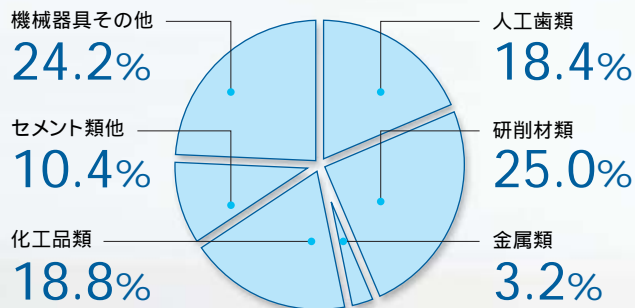


出典:「世界の歯科事情と安心ガイド / 日本歯科医師会」数字は千以下を切り捨てて表示しています。

#### (見直しに関する注意事項)

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

製品分類別売上高比率（平成18年3月31日現在）



## 主な事業内容

### 人工歯類

当社の主要歯科材料で、入れ歯や差し歯などに使われます。この分野で当社は国内のトップメーカーです。  
人工歯 / 陶歯、レジン歯、硬質レジン歯 歯科用陶材

### 研削材類

天然歯や人工歯、歯科用合成樹脂、金属等の切削・研磨に使われ、治療、技工の両面で使用されます。  
歯科用研削材 歯科用研磨材

### 化工品類

虫歯の穴に詰めたり、歯の被せ物や差し歯、入れ歯に用いられる材料が歯科用合成樹脂。歯の型をとる印象材、歯科技工で使用されるワックスなど用途や種類は多岐にわたっています。  
歯科用合成樹脂 歯科用印象材 歯科用ワックス

### セメント類他

セメント製品は、被せ物や差し歯、詰め物などの接着に、石こう製品は歯列模型製作に、埋没材製品は鑄造時の鑄型に使用されます。  
歯科用セメント 歯科用石こう 歯科用埋没材

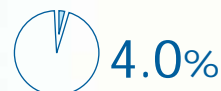
### 機械器具その他

診察及び技工に用いられる機械・器具や歯列矯正、歯のホワイトニング、予防・衛生材料などの製品分野です。  
歯科用機器 歯内療法用器具 歯科用矯正材料  
変色歯漂白剤 感染予防製品 美容器具 予防・衛生材料

### 金属類

歯の被せ物や差し歯の土台、入れ歯などに歯科鑄造用として広範囲に使用されています。  
歯科陶材焼付合金、歯科鑄造用合金

## 市場シェア（国内）



「業事工業生産動態統計 / 厚生労働省」に基づく当社調べ。

天然の歯がもつ「機能」と「美しさ」を、いかに回復させるか。  
それがわたしたち松風グループの使命です。

松風は、日本で初めて高級陶歯を開発した、歯科材料・機器の国際的総合メーカーです。なかでも歯科材料については、創業時から「いかに天然歯の持つ機能と美しさに近づくことができるか」を徹底して追究。人体への安全性はもちろん、審美性や機能性といった要素をより高次元

でバランスさせる商品づくりに取り組んできました。こうした品質の高い商品を世界に提供することで歯科医療の発展に寄与し、人々の生活を明るく豊かにしたい。私たちの理想の追求に終わりはありません。

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、  
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
このたび当社では、第134期(平成17年4月1日から  
平成18年3月31日まで)の決算を行いましたので、  
その概況についてご報告申し上げます。

## Q1. 当期の営業概況は?

### A. 国内では新製品の市場投入による セールスマックスの好転、 海外では北米・中南米向け商品の好調により、 増収増益を果たすことができました。

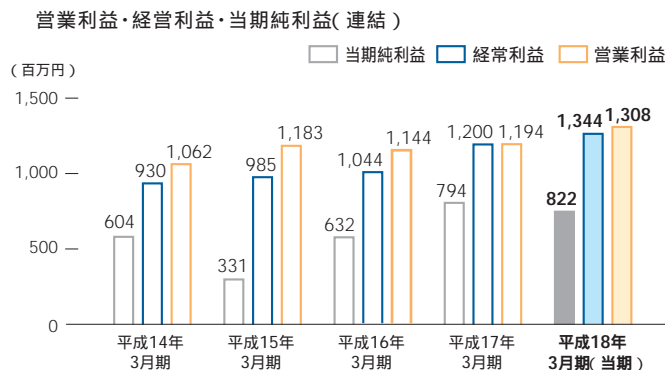
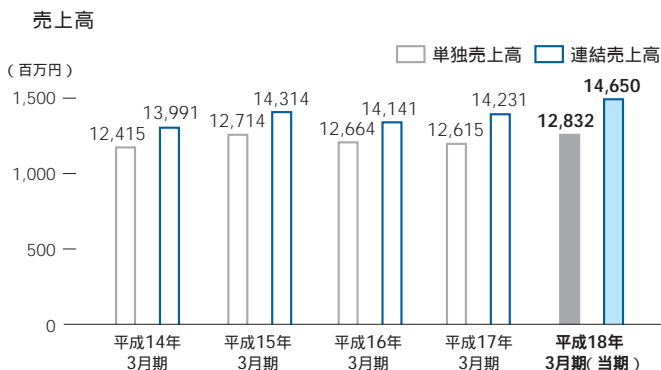
当期の日本経済は、原油の高騰や素材価格の上昇など不安材料はあったものの、企業業績の改善を背景に民間設備投資や個人消費が堅調に推移し、緩やかな回復が継続しました。

歯科業界においては、医療費本人3割負担の影響も弱まり、わずかながら歯科医療費が増加に転じるなど、明るい兆し

も見えてきました。しかし、従来からの医療費抑制政策に加えて、昨年4月に施行された改正薬事法では、医療機器に対する安全対策への要求が強まるなど、経営環境は一段と厳しさを増しています。

このような状況のなか、当社グループでは、新製品の投入と既存品の拡販に努める一方で、全社を挙げてコストダウン活動を展開することで、競争力の向上に取り組んでまいりました。

国内においては、既存品の拡販に注力するとともに、セメント類の分野でグラスアイオノマー系レジンセメント「ハイボンドレジグラス」などの新製品を発売しました。また、各種キャンペーンやエンドユーザー向けの講習会・セミナーを実施するなど、積極的な販売政策を進めました。その結果、新製品の効果的な投入と安定した主力製品の需要に支えられ、国内における売上高は、前期比2億92百万円(2.6%)増の113億50百万円と、3期ぶりの増収となりました。利益面では、原材料価格の値上がりなどマイナス要因もありましたが、自社開発新製品など利益率の高い商品の売上高が増加したことで、営業利益は前期比1億74百万円(15.5%)増の12億99百万円と大幅な増益を達成することができました。

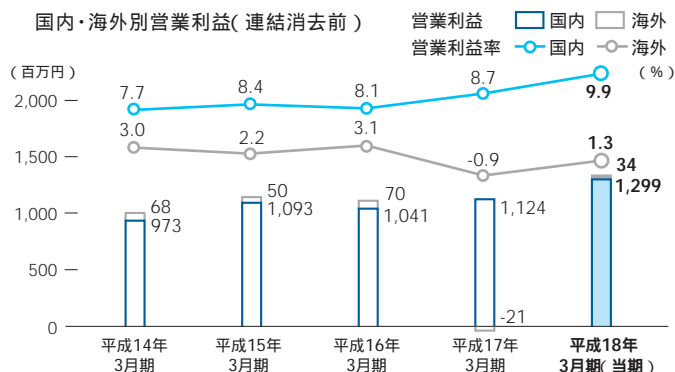


海外におきましては、北米・中南米において主力の研削材類を中心に大幅な伸びを示しました。欧州においても、ドイツにおける医療保険制度の改定による影響を受けながらも、ほぼ前期どおりで推移しました。しかし、アジア・オセアニアにおいては、中国における販売会社設立に備え、現地での流通在庫の適正化を進めたため一時的に減収となりました。これらの結果、現地通貨ベースではわずかに減収となりましたが、為替の変動がプラスに影響したことから、海外売上高は32億99百万円、前期比1億26百万円(4.0%)の増収となりました。また、海外営業利益は34百万円と、赤字を計上した前期の21百万円と比べて56百万円の増益となりました。

以上の結果、当期の連結売上高は、146億50百万円、前期比4億18百万円(2.9%)増と前期に続いての増収となり、過去最高を記録することができました。また、連結営業利益につきましては、13億8百万円、前期比1億14百万円(9.6%)の増益となりました。当期の当社単体の売上高に占める新製品売上高の比率は13.1%となり、目標である15%の達成も近いと判断しております。また、連結売上高に占める海外売上高についても、22.5%(前期比0.2ポイント増)と、目標である30%

に向け着実に進展しております。さらに売上総利益率も0.7ポイント上昇、確実な回復基調にあると判断しております。

国内及び海外の売上高は内部売上高を含む、連結消去前の数値です。



取締役社長

太田 勝也





## Q2. 当期の利益配分と配当政策は？

**A. 1株あたり18円を安定配当として維持する一方で、研究開発と新市場開拓への投資に注力します。**

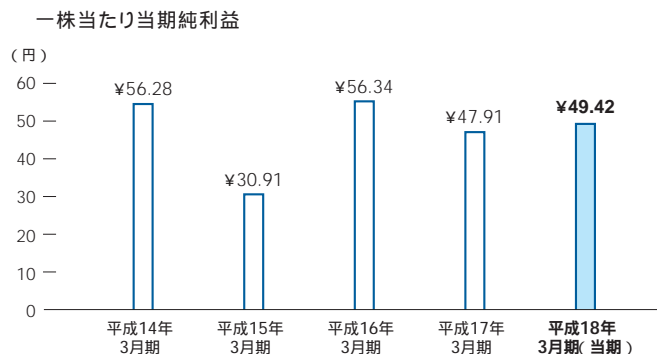
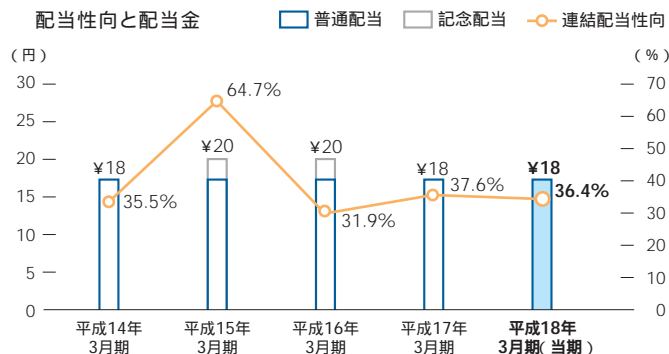
当社は、「長期的な企業価値(株主価値)の増大と、安定した配当の維持・継続」を基本方針とし、配当性向30%、1株当たり18円の配当を最低額として維持していきたいと考えております。

利益配分につきましては、経営基盤の強化・財務体質の改善を図りながら、海外事業の拡大、新製品開発のための研究開発投資など、将来における積極的な事業展開に備えるため内部留保の充実にも配慮し、当期の配当を1株当たり18円とさせていただきます。

## Q3. 中長期戦略については？

**A. 技術の蓄積と製品開発力を強みに、新規分野の開拓に注力します。**

当社は、「新製品・新技術による市場の創造とシェアアップ」、「海外事業の拡大」の2つを中期戦略の大きな柱に据えて、平



成21年3月期には売上高158億円、経常利益21億50百万円という目標を掲げており、この中期目標達成に向けて次のような施策を展開しております。

まず、「新製品・新技術による市場の創造とシェアアップ」については、当社が国内で高いシェアを誇る人工歯類や研削材類の分野だけでなく、市場の成長とともにシェアの拡大が見込める化工品類の分野に注力していきます。また、医療制度改定の影響を受けて厳しさを増す市場環境に対応するため、審美歯科、予防歯科分野を含む口腔衛生などの分野で、技術開発と新製品の市場投入を進めております。

「海外事業の拡大」につきましては、BRICs( ブラジル、ロシア、インド、中国 )など、今後の需要拡大が見込める地域での市場開拓及び拡販を進めます。そして、スケールメリットを追求することで収益性の向上を図り、中期計画の最終年度である平成21年3月期には海外営業利益率を7.0%とすることを目標としております。こうした国内外での拡販に加え、生産面におきましても、各現場単位でコストダウンプロジェクトを推進することにより、国内外の生産拠点で原価低減と効率性を追求していきます。一方で、中国における生産拠点の本格稼働をはじめ、グループ全体での生産性の拡大と価格競争力の強化を目指していく考えです。( 詳細についてはP9～11参照 )



## Q4. 次期の見通しは？

### A. 国内は診療報酬引下げの影響を受け、売上高は微減となる見込みですが、海外では増収を見込んでおります。

来期の歯科業界は、国内で診療報酬が 3.16%と過去最大の引き下げ幅となるほか、国内外における市場競争も一段と激化するなど、厳しい事業環境が予測されます。このような環境のもと、当社は引き続き新製品の市場投入と海外展開の強化を進める一方で、生産面でのコストダウンに努めてまいります。

国内では、上述の診療報酬改定に伴う価格の下落や、当社歯科用デジタルカメラの販売中止などから売上高はわずかに減収が予測されるものの、ここ数年の新製品投入による効果や、引き続きコストダウンに注力し原価率の低減に努めることで増益を見込んでおります。

海外では、ドイツにおける医療制度改革のマイナス影響が弱まると見られることや中国をはじめとする海外拠点の販売体制の強化、欧米市場での積極的なマーケティング活動による増収を見込んでおります。

これらの結果、次期の連結売上高は150億19百万円、当期比3億68百万円( 2.5% )増、連結営業利益については、14億16百万円、当期比は1億8百万円( 8.3% )増となる見込みです。なお、純利益につきましては、来期は営業外収益や特別利益の計上予定がないことから、わずかに減益となる見込みです。

平成18年6月

取締役社長 太田 勝也

中国に販売会社を設立  
松風歯科器材(上海)有限公司  
平成17年8月29日に竣工し、  
平成18年1月から営業を開始しました。

# 営業の概況

(グラフは各年度3月期の数字です。)

## 人工歯類

入れ歯や差し歯などに使われる材料

当期は、金属を使わないオールセラミックス用陶材「ヴィンテージZR」を海外で先行発売しました。人工歯類の分野は一段と厳しさを増し、当期の売上高の状況は26億97百万円(構成比18.4%)と前期比1億2百万円(同3.7%)の減収となりました。次期については28億43百万円(構成比18.9%)、当期比1億45百万円(同5.4%)の増収を見込んでいます。

売上高の推移

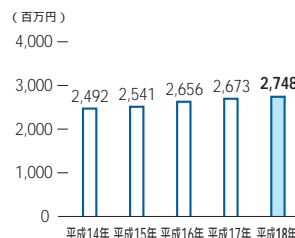


## 化工品類

差し歯や虫歯の詰め物などに用いる材料

平成17年2月に発売したフロアブルコンポジットレジン「ビューティフィル フロー」が順調に売上げを伸ばしました。当期の売上高の状況は27億48百万円(構成比18.8%)と前期比75百万円(2.8%)の増収となりました。次期については28億64百万円(構成比19.1%)、当期比1億15百万円(4.2%)の増収を見込んでいます。

売上高の推移

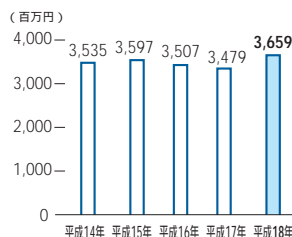


## 研削材類

歯の患部の切削や歯の被せ物を磨く材料

人工歯類と並ぶ当社の主力製品分類の一つで、国内マーケットシェアは50%程度を占めています。当期の売上高の状況は36億59百万円(構成比25.0%)と前期比1億80百万円(5.2%)の増収となりました。次期については37億41百万円(構成比24.9%)、当期比82百万円(2.2%)の増収を見込んでいます。

売上高の推移

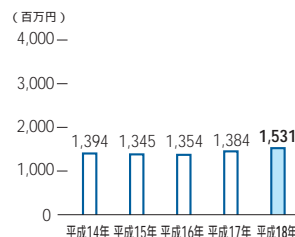


## セメント類他

被せ物や差し歯、詰め物などの接着材料

平成17年5月にグラスアイオノマー系レジンセメント「ハイボンド レジグラス」を市場投入し、着実に売上げを伸ばしたこともあって、当期の売上高の状況は15億31百万円(構成比10.4%)と前期比1億47百万円(10.7%)の増収となりました。次期については15億48百万円(構成比10.3%)、当期比16百万円(1.1%)の増収を見込んでいます。

売上高の推移

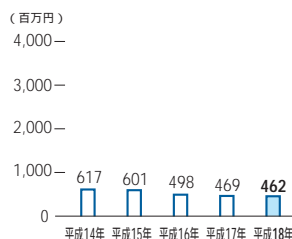


## 金属類

歯の被せ物や差し歯の土台に使われる材料

一部代替品への切り替えが進んでいることもあり、当期の売上高の状況は4億62百万円(構成比3.2%)と前期比6百万円(1.4%)の減収となりました。次期については、一部金属製品の販売中止により、一時的なマイナスが発生する見込みですが、貴金属製品の価格改定により、4億67百万円(構成比3.1%)と、当期比4百万円(0.9%)の微増収を見込んでいます。

売上高の推移

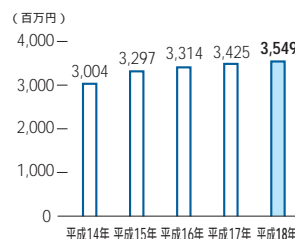


## 機械器具その他

診療や技工に使用される機械・器具やその他の材料など

前期に販売を開始した歯科用デジタルカメラ「アイスペシャル」、無酸素吸引加圧方式自動鑄造機「アルゴンキャスターAE」、ホームホワイトニング材料「松風ハイライト シェードアップ」等の既存品の販売に注力した結果、当期の売上高の状況は35億49百万円(構成比24.2%)と前期比1億24百万円(3.6%)の増収となりました。次期については35億53百万円(構成比23.7%)、当期比4百万円(0.1%)の微増収を見込んでいます。

売上高の推移

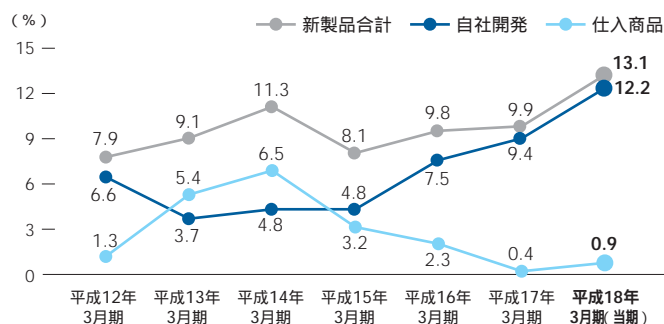




## 新たな市場の創造のために、積極的に自社開発新製品を投入しています。

当社では事業活動を進めるうえでの行動指針として「質の重視と量の確保」と「変化への挑戦」を掲げており、企業活動のあらゆる局面において質を重視しつつ、量の拡大を図り、変化を先取りした活動を進めています。その具体的な取り組みとして、高品質・高付加価値製品の開発に注力。当社は現在、人工歯と研削材分野で約50%のシェアを獲得していますが、これらの既存分野を維持しながら今後、審美市場や予防分野を中心に、新製品・新技術の投入によってさらなるシェアアップを図っていく方針です。

新製品売上高の推移



「操作性」「審美性」「耐久性」に優れた歯科用常温重合レジンです。

### プロビナイス

(歯科用常温重合レジン)



「操作性」「審美性」「耐久性」に優れた歯科用常温重合レジンです。治療期間中に使用する差し歯や、入れ歯の歯ぐきにあたる部分の修理など様々な用途に使用されます。耐磨耗などの「耐久性」や「審美性」に優れていることはもちろん、術者にとって重要な「操作性」にも優れた材料です。

ひとにやさしい、低臭気、低刺激性のグラスアイオマー系レジンセメント。

### ハイ-ボンド レジグラス

(セメント)



ひとにやさしい、低臭気、低刺激性のグラスアイオマー系レジンセメントです。材料に含まれる「おい・刺激性成分」を除去することで、治療中に患者様が感じるにおいや舌への刺激といった不快感を抑えました。臭気レベルは「ほとんど感じないレベル」なので小児治療にも有効。操作性や接着耐久性のバランスがよく、術者にもやさしい歯科用セメントです。

歯科医師の指導のもと、患者様がご家庭でできる歯のホワイトニング材。

### 松風ハイライト シェードアップ

(ホームホワイトニング材)



歯科医師の指導のもと、患者様がご家庭でできる歯のホワイトニング材です。歯面研磨では除去できない着色性の汚れや、加齢などによる歯の変色を除去します。厚生労働省の認可を受けた安全な材料で、1日2時間の装着を続けることにより、着色を取り除いて、自然な歯の白さを取り戻すことができます。

# 変化の激しい市場だからこそ、 研究開発に力を入れています。



## 「保険制度」や「健康」と「美」への 人々の意識の変化に対応して。

これまで当社は、歯科材料・機器の総合メーカーとして、常に時代に先駆けた商品を市場に提供し、歯科医療の発展とともに歩んできました。

この業界を取り巻く環境には、「高齢化社会の進展」「歯科疾病構造の変化」といった需要要因をはじめ、「医療費抑制政策」「安全対策面での規制強化」といった政策要因、さらには「供給過剰構造」「グローバル化」といった市場要因など、さまざまな変動要因が存在しています。なかでも近年、医療保険制度改革の一環として進められている医療費抑制政策によって患者・医療機関双方の「痛み」が増大する方向に進んでいます。このほか、口腔衛生に対する意識の高まりなどを背景に、審美（矯正、漂白含む）、予防など、新たな歯科医療分野の需要もさらなる広がりをみせています。

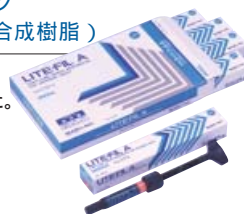
当社の創業以来の成長は、時代とともに変化するこうした社会の動きや人々の意識を鋭敏に捉えながら、たゆまぬ研究開発を重ねて、より良い製品、サービスを提供し続けてきた結果なのです。



### 1985 日本初の光重合コンポジットレジン 「ライトフィル」発売( 歯冠修復用合成樹脂 )

優れた光重合性と天然歯に近い透明性を可能にしました。

虫歯の窩洞に詰めた後、可視光線を照射して硬化させる合成樹脂です。優れたカラーマッチングにより天然歯のような質の高い審美修復を可能にしました。



### 1986 新世代の人工歯 硬質レジン歯 「エンデュラ」発売

健康保険に適用、天然歯に迫る機能性と審美性を実現しました。

生体に調和した自然感ある形態「ハーモニーフォーム」を採用。独自の素材と三層構造により、高い強度と硬度や優れた耐摩耗性、審美性が特長です。



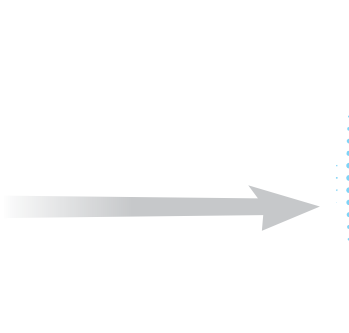
## SHOFU's column

### 創業以来、一貫とした 「松風」という社名への誇り

松風という社名は、日本の侘寂を感じさせる響きで古風に思われるかもしれませんが、しかし、京都の伝統陶芸「清水焼」の製陶家による創業から80余年を経た現在も一貫して、最高水準の研究開発力と最新鋭の生産設備を駆使し、高品質な数々の製品をご提供し続けてきました。常に時代の先を見据え、歯科業界で初めて上場したわたしたちの誇りがこの社名に込められているのです。



1997  
[医療費]  
本人**2割**負担



2003  
[医療費]  
本人**3割**負担

1998 米国ノリアン社製骨セメントの歯科領域における独占販売権を取得

1998 国内初の変色歯漂白剤「松風ハイライト」発売

生活歯の漂白が可能なホワイトニング材として、国内で初めて認可されました。

光反応と化学反応の併用によって、短時間で処置できる上、漂白効果も安定しています。



1999 ジョンソン&ジョンソン製品の販売開始

洗浄・消毒剤から口腔予防衛生まで、商品ラインナップを強化しました。

歯科診療に必要な器具用洗浄・消毒剤から、環境用各種製品及び口腔予防衛生製品まで、多彩な製品をご提供しています。

2000 審美性歯科充填用コンポジットレジン「ビューティフィル」発売

独自開発のS-PRGフィラーを配合した修復材料です。前臼歯充填用樹脂(コンポジットレジン)として必要な特性に加え、材料自体が口腔内で持続的にフッ素の放出と取り込みを繰り返すなどの特長があります



2002 ナノテクノロジーを応用した世界初の人工歯「NCベラシア」を世界同時発売

巧みな三層設計と新素材を採用した、次世代の人工歯。

天然歯のような美しさ、スムーズな発音ができる設計、食べ物が溜まりにくい形態、着色しにくく適度な硬さの素材、総入れ歯と部分入れ歯の両方に適応できるなど、非常に機能的な人工歯です。



2003 中国における生産拠点として「上海松風歯科材料有限公司」を設立

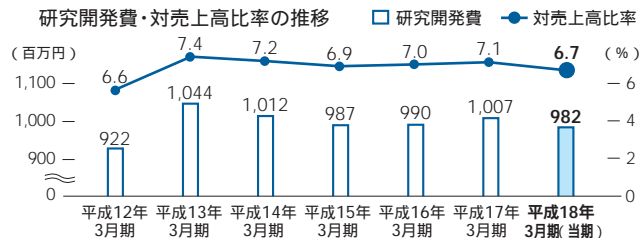
新たな海外生産拠点として上海市に「上海松風歯科材料有限公司」を設立。その後、中国市場での販売を積極的に進めるため、敷地内に販売子会社「松風歯科器材(上海)有限公司」を設立しました。

2004 ハイブリッドタイプ前臼歯対応歯冠用硬質レジン「セラマージュ」発売

▶ 詳細については、P11-12をご覧ください。

市場の創造のために、研究開発への積極的な投資を継続しています。

当社グループは、「高品質・高付加価値製品の開発」を重要な経営課題として、環境変化への抵抗力を高めるという視点から、毎期10億円程度、対売上高7%強の研究開発投資を継続しており、次期についても同規模の投資を継続してまいります。



# 審美関連市場をはじめ、 海外の有望市場を積極的に開拓しています。



## 世界市場へ、審美市場へ、 そして予防・口腔衛生市場へ。

当社グループでは「新製品・新技術による市場の創造とシェアアップ」、「海外事業の拡大」を中期戦略の大きな柱に据えており、「連結ベースでの海外売上高を全体の30%以上とする」ことを具体的な数値目標として掲げています。平成18年3月期の海外売上高比率は22.5%でしたが、今回策定した中期計画の最終年度である平成21年3月期には、26.2%とする計画です。

海外においても、当社が積極的に製品展開を進める審美歯科や、より高いレベルの予防・口腔衛生市場の成長が有望視されています。こうした市場に対して、これまで以上にマーケティング活動を強化し、世界市場をターゲットとした「世界で売れる製品」の開発を進め、戦略的な製品投入に努めてまいります。

### 前白歯対応 歯冠用硬質レジン 「セラマージュ」

天然歯と同様の自然感あふれる色調と  
白歯での使用に耐える強度を兼ね備えました。

虫歯治療においてインレー(詰め物)やクラウン(被せ物)に使用する材料です。前歯に使用する材料はこれまでもありましたが、白歯には大きな負荷がかかるため金属材料が主流となっていました。「セラマージュ」は独自開発の材料を配合することで強度を当社従来品の2倍に高め、白歯部分での使用に耐えるとともに天然歯と同様の光拡散透過性を有する自然感あふれる色調を再現しました。今後の歯科医療を革新させる材料として期待されています。



### SHOFU's column

#### 研削・研磨材の分野で 「ショウフウ」は世界の共通語

ADA(アメリカ歯科学会)から、その切削能力と耐久性について最高の品質と認められた松風の研削・研磨材。常に時代の最先端のニーズに応え、今や610種類という豊富なラインナップを誇り、100カ国以上に販売されています。ISO規格を超える社内規格を設けることで、常に高品質な製品づくりに努めている「ショウフウ」は、研削材の代名詞として、世界のあらゆる歯科医療の現場で活躍しています。

### フロアブルコンポジットレジン 「ビューティフィルフロー」

独自開発した「多機能性ガラスとS-PRG技術」により、  
天然歯にマッチした色調再現に成功しました。

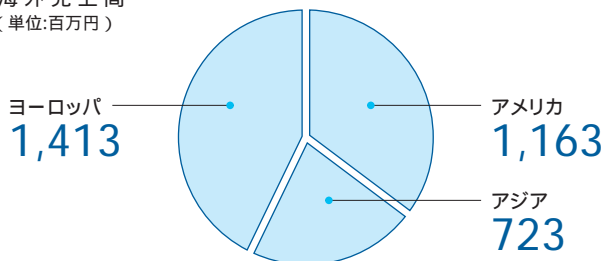
光透過性と光拡散性を調和することにより、自然感あふれる修復が可能な光重合型の充填用樹脂(コンポジットレジン)です。ビューティフィルのフッ素徐放機能などはそのままに、幅広い症例に対応させるため流動性の異なる2種類のペーストを開発しました。



## 世界6カ国・11拠点を、世界市場に積極的に取り組んでいます。

海外事業については、北米・中南米、欧州、アジア・オセアニアを重点地域と位置付け世界6カ国、11拠点到事業所を展開し、世界市場をターゲットとした製品開発と戦略的な製品投入に努め、新たな市場創造に取り組んでいます。欧米市場ではマーケティング活動を強化するとともに、BRICs( ブラジル、ロシア、インド、中国 )をはじめとした今後の需要拡大が見込まれる海外市場にも重点的に販売活動を展開。当期に販売子会社を設立した中国市場での存在感をさらに高めるべく、積極的に活動を推進しています。

海外売上高  
(単位:百万円)



### in Asia

中国市場の拡大へ、  
インド・ベトナム市場の開拓へ

中国での販売子会社設立にあたり、一時的な流通在庫調整等の影響があり、売上高は 7億23百万円、前期比1億23百万円(14.6%)の減収となりました。ただし中国の歯科市場で松風は高いブランドイメージを確立しており、販売もスムーズなスタートが切れています。ベトナム・インドでも生活レベルの向上で歯科医療に対するニーズが高まっており、積極的な市場開拓を図っていきます。

### in America

北米の審美歯科市場へ、  
南米輸出市場の開拓へ。

海外売上高に占める南北アメリカの構成比は35.3%(前期30.5%)となりました。北米では、組織・販売体制の再構築により着実な回復を見せました。また、主力の研削材類や人工歯類が堅調に推移したことや為替変動の影響もあり、売上高は11億63百万円、前期比1億96百万円(20.3%)の増収となりました。今後は、引き続き高い需要が見込まれる北米の審美歯科市場に注力するとともに、成長が著しい南米市場への輸出も視野に入れていきます。

### in Europe

人工歯市場への参入へ、  
東欧市場の開拓へ。

海外売上高に占めるヨーロッパの構成比は前期と同率の42.8%となりました。研削材類やセメント類他の売上げは堅調でしたが、ドイツにおける医療保険制度の改定による影響もあり、現地通貨ベースではほぼ横這いで推移しました。為替変動の影響により、円換算での売上高は14億13百万円、前期比53百万円(3.9%)の増収となりました。今後は、人工歯市場に積極展開するとともに、東欧市場への進出を進めます。



# 連結財務諸表

## 貸借対照表

科 目	当 期	前 期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	13,191	11,727
1.....現金及び預金	6,558	5,254
受取手形及び売掛金	2,518	2,963
有 価 証 券	702	128
棚 卸 資 産	2,910	2,982
繰 延 税 金 資 産	485	424
そ の 他	214	212
貸 倒 引 当 金	198	237
固 定 資 産	11,794	10,288
2...有形固定資産	4,005	3,861
建物及び構築物	2,372	2,298
機械装置及び運搬具	435	444
土 地	552	547
建設仮勘定	287	259
そ の 他	357	310
無形固定資産	94	119
投資その他の資産	7,693	6,307
3.....投資有価証券	6,761	5,513
繰 延 税 金 資 産	31	30
そ の 他	912	778
貸 倒 引 当 金	12	14
資 産 合 計	24,985	22,016

### Point

#### 1 現金及び預金の増加

営業活動によるキャッシュフローの好転により、前期末比13億4百万円増加し65億58百万円となりました。

### Point

#### 2 有形固定資産の増加

主に、現在本社において建設中の研修センターによるものです。

### Point

#### 3 投資有価証券の増加

保有株式などの時価評価が上昇したことによるものです。

科 目	当 期	前 期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	3,347	2,850
支払手形及び買掛金	632	554
短 期 借 入 金	1,035	1,045
未 払 法 人 税 等	369	138
そ の 他	1,311	1,113
4...固定負債	2,061	1,284
繰 延 税 金 負 債	1,050	220
退職給付引当金	75	68
役員退職慰労引当金	426	504
そ の 他	509	490
負 債 合 計	5,409	4,135
<b>(資本の部)</b>		
資 本 金	4,474	4,474
資 本 剰 余 金	4,641	4,641
利 益 剰 余 金	8,742	8,244
5... 其他有価証券評価差額金	1,870	798
為 替 換 算 調 整 勘 定	5	141
自 己 株 式	158	136
資 本 合 計	19,576	17,881
負債、少数株主持分及び資本合計	24,985	22,016

### Point

#### 4 固定負債の増加

保有株式などの時価評価の上昇に伴い、繰延税金負債が増加したことによるものです。

### Point

#### 5 其他有価証券評価差額金の増加

保有株式などの時価評価が上昇したことによるものです。

## 損益計算書

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売 上 高	14,650	14,231
6..... 売 上 原 価	6,829	6,735
売 上 総 利 益	7,820	7,496
7..... 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,512	6,301
8... 営 業 利 益	1,308	1,194
営 業 外 収 益	316	281
営 業 外 費 用	280	274
9... 経 常 利 益	1,344	1,200
特 別 利 益	43	126
特 別 損 失	29	
税金等調整前当期純利益	1,358	1,326
法人税、住民税及び事業税	502	250
法 人 税 等 調 整 額	32	253
少 数 株 主 利 益		28
当 期 純 利 益	822	794

### Point

#### 6 売上原価率の低下(前期:47.3% 当期:46.6%)

セールスマックスの好転や、コストダウン活動などにより売上原価率は46.6%と前期比0.7ポイント低下いたしました。

### Point

#### 7 販売費及び一般管理費の増加

国内外における積極的な販売活動や、為替変動による影響もあり、増加いたしました。

### Point

#### 8 営業利益の増加

増収効果や、売上原価率が低減したことによって、営業利益は前期比1億14百万円(9.6%)増加し、13億8百万円となりました。

## 連結剰余金計算書

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	4,641	4,576
資本剰余金増加高	0	64
資本剰余金期末残高	4,641	4,641
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	8,244	7,725
利益剰余金増加高	822	794
利益剰余金減少高	324	276
利益剰余金期末残高	8,742	8,244

### Point

#### 9 経常利益の増加

営業利益の増加に加え、受取配当金や保険収入などが前期比増加したため、営業外収支が好転し、経常利益は、前期比で1億43百万円(12.0%)増の13億44百万円となりました。

# 連結財務諸表

(単位:百万円 単位未満切り捨て)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
<b>1</b> ...営業活動によるキャッシュ・フロー	1,808	279
税金等調整前当期純利益	1,358	1,326
減 価 償 却 費	391	390
退職給付引当金の増減額(減少: )	165	507
売上債権の増減額(増加: )	460	48
棚卸資産の増減額(増加: )	95	14
法人税等の支払額	312	602
そ の 他	19	293

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
<b>2</b> ...投資活動によるキャッシュ・フロー	2,032	614
定期預金の預入れ 支出・払戻し収入(純額)	1,766	172
有形固定資産の 取得による支出	320	358
投資有価証券の 取得による支出	149	540
そ の 他	204	457

### Point

#### 1 営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前当期純利益13億58百万円と売上債権の減少4億60百万円などにより、18億8百万円のプラスとなりました。

### Point

#### 2 投資活動によるキャッシュフロー

預入期限3ヶ月以上(長期)の定期預金への預け入れなどにより、20億32百万円のマイナスとなりました。

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
<b>3</b> ...財務活動によるキャッシュ・フロー	318	360
借入金収入及び 借入金返済支出(純額)	10	30
自己株式の売却収入及び 取得支出(純額)	22	96
配当金の支払額	286	231
少数株主への配当金の支払額		2
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	32
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	475	662
現金及び現金同等物の期首残高	4,629	5,291
現金及び現金同等物の期末残高	4,153	4,629

### Point

#### 3 財務活動によるキャッシュフロー

配当金支払いのための支出2億86百万円などにより3億18百万円のマイナスとなりました。



# 個別財務諸表

(単位:百万円 単位未満切り捨て)



## 貸借対照表

科目	当期	前期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	10,271	9,153
現金及び預金	4,551	3,668
受取手形及び売掛金	2,513	2,823
有価証券	702	128
棚卸資産	2,215	2,310
繰延税金資産	346	326
その他の貸倒引当金	135	128
貸倒引当金	194	233
固定資産	12,304	10,752
有形固定資産	2,608	2,576
建物及び構築物	1,722	1,849
機械装置及び運搬具	274	294
土地	180	180
建設仮勘定	207	46
その他の無形固定資産	223	203
無形固定資産	91	115
投資その他の資産	9,603	8,060
投資有価証券	6,761	5,513
関係会社株	1,676	1,566
その他の貸倒引当金	1,186	1,007
貸倒引当金	21	26
資産合計	22,576	19,905

## 損益計算書

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	12,832	12,615
売上原価	6,798	6,791
売上総利益	6,033	5,823
販売費及び一般管理費	5,119	5,056
営業利益	913	767
営業外収益	401	372
営業外費用	277	265
経常利益	1,037	874
特別利益	43	126
特別損失	29	
税引前当期純利益	1,051	1,000
法人税、住民税及び事業税	312	96
法人税等調整額	74	446
当期純利益	664	458
前期繰越利益	4,132	3,994
中間配当額	127	126
当期末処分利益	4,670	4,326

科目	当期	前期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,068	2,547
支払手形及び買掛金	655	580
短期借入金	1,035	1,045
未払法人税等	282	22
その他	1,095	900
固定負債	1,874	1,116
繰延税金負債	988	160
役員退職慰労引当金	412	493
その他	474	462
負債合計	4,943	3,664
<b>(資本の部)</b>		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,641	4,641
利益剰余金	6,804	6,462
その他有価証券評価差額金	1,870	798
自己株式	158	136
資本合計	17,632	16,240
負債・資本合計	22,576	19,905

## 利益処分計算書

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
当期末処分利益	4,670	4,326
任意積立金取崩額	1	1
利益処分額	194	195
配当金	158	158
役員賞与金	35	36
任意積立金		
次期繰越利益	4,477	4,132

# 会社概要・役員

# 株主様ご優待のお知らせ

## 会社の概要

社名 株式会社 松風  
(SHOFU INC.)

事業内容 歯科材料及び歯科用機器の製造・販売

設立年月日 大正11年5月15日

資本金 4,474,646,614円

本社・工場 京都市東山区福稲上高松町11番地  
〒605-0983 TEL.(075)561-1112(代)

支社 東京支社 東京都文京区  
営業所 札幌営業所 札幌市中央区  
仙台営業所 仙台市宮城野区  
名古屋営業所 名古屋市東区  
大阪営業所 大阪市中央区  
福岡営業所 福岡市博多区

インターネットホームページ URL <http://www.shofu.co.jp>

## 取締役及び監査役（平成18年3月31日現在）

取締役社長 太田 勝也	取締役 根来 紀行
専務取締役 橋本 孝	取締役 松村 光常
専務取締役 脇野 喜和	取締役 牧野 宏治
常務取締役 梶 浩行	取締役 南部 敏之
常務取締役 白波瀬 文雄	取締役 早川 雄一
常務取締役 関 敏明	常勤監査役 河合 正勝
取締役 坂本 壽秀	監査役 西田 憲司
取締役 西田 喜直	監査役 酒見 康史

代表取締役

当社では、日頃の株主のみなさまのご愛顧にお応えするため、株主様ご優待を実施いたします。  
平成18年3月31日現在当社株式をご所有のすべての株主様に、下記の当社取扱製品を特別価格にて販売させていただきます。  
ご購入の際には、同封の申込みハガキに必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。 お申し込み締切日 平成18年8月31日(木)

### A 入れ歯洗浄剤「ピカ」

優待価格3,024円(標準患者価格:4,410円)  
株主お1人様に対し2箱(6個入り/箱)まで

入れ歯の汚れの主体となるカンジダ菌を溶解除去し、入れ歯装着による疾病を予防。快適な口腔環境を保持できる入れ歯洗浄剤です。



### B 薬用液体ハミガキ「ハピカエース」

優待価格2,520円(標準患者価格:5,040円)  
株主お1人様に対し4箱(6本入り/箱)まで

歯周病や歯肉炎並びに虫歯の予防に効果がある薬用液体ハミガキです。



### C 薬用ハミガキ「プロフィーラ薬用ハミガキ」

優待価格3,528円(標準患者価格:5,985円)  
株主お1人様に対し2箱(6個入り/箱)まで

「グリチルリチン酸ジカリウム」により歯周炎や歯肉炎を予防。「フロボリス」を配合することで口臭を防ぐとともに薬用成分との相乗効果で歯周病を強力に予防します。

ご優待価格は消費税を含んでおります。



## お問い合わせ

- 本制度に関するお問い合わせは、  
☎ 0120-981914(通話料不要)  
株式会社松風総務課までお願いします。
- 営業時間は午前8時30分から午後5時までとなっております。
- 土、日、祝日は誠に勝手ながら休ませていただきます。

## ご注意

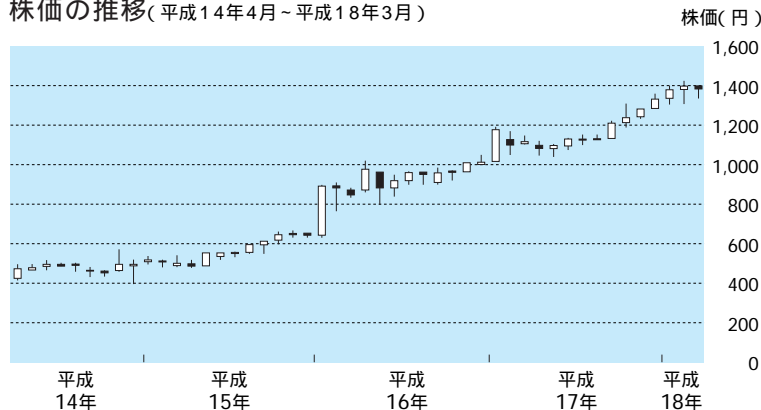
- 集計の関係上、お申し込み後お手元に商品をお届けできるのは約2週間後となります。
- 優待期間終了後のお取扱いにつきましては、上記フリーダイヤルで直接当社にお問い合わせください。
- 本制度のご利用によるお買い上げ商品につきましては、1週間を経過した後のお取り替え、ご返品はお受けいたしかねますので、ご了承ください。

## 株式の状況

## 大株主の状況

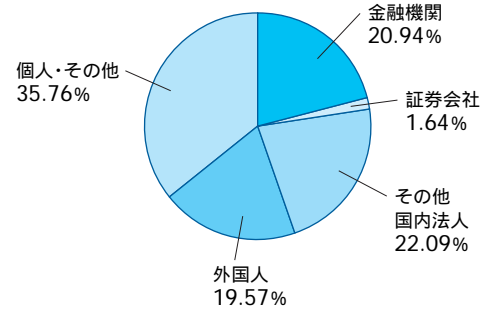
株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
スティーलパートナーズ ジャパンストラテジックファンド (オフショア)エルピー	1,309	8.13
クレジットスイスファーストポストン ヨーロッパビービーセクアイエヌティ ノントリーティクライエント	1,174	7.29
株式会社京都銀行	765	4.75
日本生命保険相互会社	718	4.46
株式会社滋賀銀行	602	3.74
松風慎一	506	3.14
松風定二	456	2.83
松風社員持株会	439	2.73
住友信託銀行株式会社	364	2.26
日新火災海上保険株式会社	339	2.11

## 株価の推移(平成14年4月~平成18年3月)

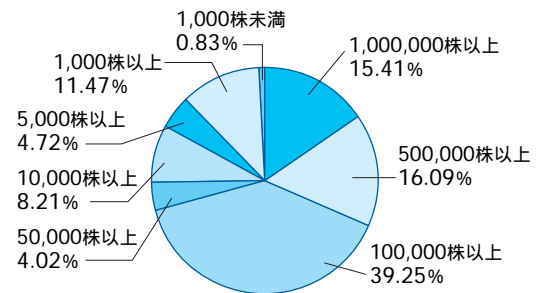


平成16年5月20日付をもちまして、当社普通株式1株を15株に株式分割を実施いたしました。株価チャートに連続性を持たせるため、分割基準日以前の株価も遡って修正しております。

## 所有者別分布状況



## 所有株数別分布状況



## アンケートのお願い

株主のみなさまとのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示充実に努めてまいりたいと考えております。つきましては、この事業報告書や弊社に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。アンケートハガキを同封しておりますので、アンケートの各項目にご記入いただき、ご投函ください。

## 株主メモ( 株式会社のご案内 )

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ  
公告して定めた日
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- ( 郵便物送付先 ) 〒186-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- ( 電話照会先 ) 住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417  
その他のご照会 ☎ 0120-176-417
- ( インターネットホームページURL ) [http://sumitomotrust.co.jp/STA/  
retail/service/daiko/index.html](http://sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)
- 同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
- 公 告 の 方 法 当社ホームページに掲載します。  
<http://www.shofu.co.jp/ir/lib/lib.htm>  
ただし、やむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に掲載します。
- 上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所



世界の歯科医療に貢献する

# 株式会社 松風

本社・工場

〒605-0983 京都市東山区福稻上高松町11番地  
TEL 075-561-1112(代)

URL <http://www.shofu.co.jp>

R100



再生紙(古紙配合率100%)、大豆油インキを使用しています。